真宗大谷派
浄恩寺

LINE　QR コード

令和７年　　１月　　第４７６号

浄恩寺同朋会報

電話　０５２－８８１－８４７４

「明けまして、おめとうございます。
本年もよろしくお願い致します。巳年」

新年一日から三日までは、のんびり過ごすことができました。

元旦は、お寺でお正月のお勤め後、お雑煮とお節を頂き、東別院に寄り「新舞子ブルービーチ」へ、わんこ達と初散歩。毎年のルーティーン。風もなく穏やかな時間を過ごせました。

その後、セントレアビーチに寄りました。

二日は「庄内緑地公園ドッグラン」で遊び、帰り道、東片端「ボンボン」で懐かしのケーキを買い。夜は義父を招いて蟹すきをいただきました。

三日は、「南知多ビーチランド」やはりわんこ達と一緒です。

我が家の正月は、毎年こんな感じです。

この後、訃報が続き、法事時間の変更をお願いしながら、葬儀を勤めました。

令和７年の年忌一覧

１周忌・・・・令和６年亡

３回忌・・・・令和５年亡

７回忌・・・平成３１年亡
令和元年

１３回忌・・平成２５年亡

１７回忌・・平成２１年亡

２３回忌・・平成１５年亡

２７回忌・・平成１１年亡

３３回忌・・平成５年年亡

４３回忌・・昭和５８年亡

５０回忌・・昭和５１年亡

※ご法事のご予定は、３ヶ月以上前にご予約をお願い申し上げます。

やっと「八事斎場」の再建計画とその間の「第二斎場」営業方針が発表されました。現在でも、火葬炉が空き待ちが発生しているとの厳しい状況が今後も続くと考えられます。

四月から名古屋市の唯一の火葬炉は三〇炉、「第二斎場」一九炉で一日三回転、一炉は予備ですから、一日八七人の火葬を目標に計画されています。職員の勤務時間、火葬後の戻り初七日の時間を考える通夜時間帯に初七日を勤める件数が増加。葬儀場の回転が悪くなります。

恐らく、初七日を葬儀中に組み込む「式中初七日」が多く提案され、火葬場で親族解散の日程が増えるでしょう。このかたちは、関東関西では一般的な葬儀のかたちになっています。

火葬待ちを発生させないための対策

市民の皆様の火葬待ちが発生しないよう、八事斎場の再整備期間中に限り、次のような対策を実施します。

1. 第二斎場の1日1炉当たりの火葬件数を2件から3件に増やします。
2. 第二斎場の稼働日を334日（元日および友引日の半分を休場）から364日（元日のみ）に増やします。
3. 市民優先予約枠を設けて、市民の皆様の火葬を優先的に確保します。

年間火葬可能件数の増加について

年間火葬可能件数を、年間12,296件増加させます。

- 従来：2件/日×334日/年×29炉=19,372件
- 再整備中：3件/日×364日/年×29炉=31,668件

注）第二斎場の火葬炉数は30炉。うち1炉は予備炉とするため、1日当たり29炉稼働します。

八事斎場の再整備について

令和7年4月から令和10年5月まで、八事斎場の再整備を行い、令和10年6月から新しい八事斎場の供用開始を予定しています。また、再整備期間中は八事斎場は人体火葬を停止（動物火葬は継続）しますが、市民の皆様の火葬は、第二斎場で対応させていただきます。

ご迷惑、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

新しい八事斎場について